

ただいま卒業証書を授与致しました153名の卒業生の皆さん。

ご卒業おめでとうございます。本日はPTA会長<sup>いなばまき</sup>稲葉真貴様、部活動  
後援会会長<sup>いわいかずよし</sup>岩井一好様のご臨席を賜り、第75回卒業証書授与式を  
挙行できますこと、大変喜ばしく思っております。

保護者の皆さま、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。立派  
に成長したお子様の姿をご覧になり、さぞ喜びもひとしおのことと  
ご推察いたします。入学時は小学校7年生といった、まだまだあどけ  
ない表情を残したお子さんたちでした。卒業アルバムの個人写真に  
それはよく表れています。体より大きい重い鞆と部活動の道具を背  
負い、学校へ向かうわが子の後姿を、不安な思いで見送ったことでし  
ょう。「あなたが選んだ道なのだからがんばれ」とそっと声をかけた  
はずです。子どもが幸せなこと、何かに夢中であってくれること、親  
の願いはただそれだけです。そして、お子様たちは親のその願いを受  
けて今日、立派に大人の階段を上り始めようとしています。

近くの中学校ではなく遠い本校を選んできた皆さん。しかし、そ  
の距離の分皆さんはたくましくなりました。体力も気力も精神力も  
そして忍耐力も日本で一番の中学生に成長したと私は思っています。

皆さんが入学したのは2021年4月です。コロナは依然として

猛威を振るい、出口の見えない閉塞感を感じながら毎日を過ごしていたと思います。入学式は全員マスク姿。保護者の方の出席も制限がありました。

私は入学式の式辞で、皆さんにこんな話しをしました。「一定の国語力、計算能力、文学や歴史、地理、自然科学に関する知識など皆さんが生きていく上での力となるものを身に着けてほしい。そして、自分とは何なのか、生きる意味とは何かを追求して、本を読み漁り悩んだり、人を好きになって眠れない夜を過ごしたり、夜を徹して友と語り合ったり、グラウンドで汗と涙を仲間たちと一緒に流したりする。そんなかけがえのない青春の日々を送りながら夢や希望を追い続けてほしい」と。

約束された1000日の日を今日終えようとしています。皆さんにとってこの3年間は、夢を追い求め手にした「人生で一番短い3年間」だったのでしょうか。「頭にも、心にも、体にも汗をかく青春」を送れましたか。「夢中って無敵、青春って忙しい」と実感できたとしたなら、充実した青春の日々を送れたということです。

今日ここに至るまでのみなさんそれぞれの1000日のドラマ。試合に敗れ悔しくて人目もはばからず泣いた日、スクールバスの中

での朝学の勉強、レギュラーから外れ部活に行きたくないと悩んだ日々、各クラスデザインの T シャツを着てクラス一丸となって飛んだ大縄跳び、頭では分かっているのに両親に反抗してしまった夜、ベストクラス賞を取って食堂で食べたスペシャルランチ。転びながらも楽しかったスキー。心ひとつにして金賞を目指した合唱コンクール。友と語り合った放課後の教室、修学旅行の夜。

一人ひとりがかげがえのない青春時代を駆け抜けてきた1000日の日々。それは喜怒哀楽に彩られた眩しく輝く青春の日々であったはずです。

これから進んでいく高校生活の中で実現したい夢や希望が皆さんにはあるはずです。そして、それらを手にするためには多くの努力と忍耐、時には苦難や悲しみを重ねなければならないことも皆さんは知っています。挫折を繰り返し、自分を見失い、そして、自暴自棄になってしまうこともあるでしょう。しかし、順風満帆に歩んで手にしたものなどどれほどの価値があるのでしょうか。希望というのは額に汗し、心に汗し、心折れそうな自分と闘い、その苦しみを乗り越えて初めて見えてくるものだと思うのです。どうか自分に負けないでください。

皆さんには若さがある。多くの時間がある。色々な可能性に挑戦するエネルギーがあります。しかし、皆さんが打って出ていく世界は必ずしも平穏な世界であるとは言えません。

世界は益々狭くなっています。コロナウイルスはあっという間に世界中に広がって、多くの人々をパニックに陥れました。人、もの、お金の移動流通は激しく、海の向こうで起こったことは遥か彼方の出来事ではもはやなく、我々の日常生活にすぐに影響をもたらします。終わりが見えないウクライナとロシアの戦争は石油や天然ガスの国際価格の高騰を招き、両国で世界輸出の30%を占める小麦の価格は過去最高に達し私たちの生活を苦しめています。

また、元旦に起こった能登半島地震を見るまでもなく、日本は地震によって大きく被害を受ける国でもあります。日本の歴史は災害と復興の歴史といっても過言ではありません。

皆さんの使命は安全で安心な社会を作ることです。自由で平等で平和な世界を作るという大きな責任があります。前途洋々たる人生を歩むためにどうか果たすべき役割を自覚し、幸福な社会を作るために頭にも心にも体にも汗を流してください。

静岡翔洋からは永遠の姿をとどめる美しい富士が見えます。永遠

にそびえ立つ富士のように皆さんの仲間と培ってきた友情もいつまでも続くことでしょう。翔洋生らしく雄々しく、自らの抱く希望に向かって歩みを進めてください。希望こそ生きる原動力です。素晴らしい人生の「門出」となることを祈念致しまして、「告辞」といたします。卒業おめでとう。